

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	しあわせ駅 経塚		
○保護者評価実施期間	R8年 3月 9日		～ R8年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	R8年 3月 9日		～ R8年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な障害レベルの児童が利用している。	こども会議(児童同士の話し合い)を用いて、「どこに出かけたいか」などのその日の活動を決めて全体活動を行うことを工夫している。	全体活動において地域交流や行事参加ができるように積極的な情報収集と計画実施 手話学習を定期的に取り入れて聾の児童に対して、どの利用時でも対応できる取り組みの継続
2	運動・作業活動に適した範囲が広い。 (室内・バルコニー・駐車場)	集団活動では鬼ごっこや風船ボールなどを用いた運動だけでなく、運動動画を活用して障がいの程度にかかわらず全員が楽しんで体を動かす機会を作っている。	運動活動の機会を増やして他児との交流の活性化 →ペア活動、グループ活動
3	室内スペースにゆとりがあり、支援内容に応じた場所づくりを行っている。 (切り替え、個別レッスン、全体レッスン、集団活動に応じた場所)	児童がわかりやすいようにイラストや手話で何を行う部屋なのかイラスト表示を掲示している。	各部屋の死角を最大限なくするような家具等の配置

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	重度の障がい児の利用が多いことから、マンツーマン対応が常時課題。	介助技術や経験がある職員の移動・退職等に伴い、障がいレベルに対応できる人員不足。 新任者等へ適切な指導期間を設けることができないことから、技術習得までに双方の職員に物理的・心理的負担が生じていると考えられる。	本社の協力も得ながら、事前研修等の機会を設ける。 事業所で管理者による新任指導の期間を設ける。その期間はヘルプなどを要請できるような仕組みづくりの提案
2	児童の活動が多岐にわたる為、安全確保に注意が必要。	異動・退職に伴い人員が安定しない為、見守りが難しい	職員の配置の見直し 報・連・相の強化
3	様々な障がいレベルの児童がおり、それぞれに対応した支援を行うことから活動に制限がかかる場合がある。	障がいレベルが異なるため、活動の偏りが見られる。	活動計画の精査

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	経塚					公表日	令和 8 年 3 月 30 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・事業所等の配置を変えて、活動できる部屋の内容を考えている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	・活動内容(外出・集団活動・個別支援等)に応じて配置を調整している	マンツーマン対応の児童が多いので、人数の確保が必要と感じます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・1日のスケジュールが分かるように視覚化。 ・月の行事予定を壁に掲示している。	休憩室にドアがない。 個別レッスン室はものに溢れ集中できる環境ではない。 児童の障がいに対して、配慮しきれていない部分もあります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の清掃・消毒をおこなっている。季節の掲示物や作品展示をして達成感を高められる環境づくりに取り組んだ。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・児童の気持ちや状況に応じて、柔軟に切り替えており、利用時にも安全確認や見守り体制を整えている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	定期的に職員会議を実施し、支援の振り返り等をおこなっている。今後も業務改善の継続に努める。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	集計結果を職員間で共有し、支援内容や業務改善に反映するよう努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	定期的に職員間で情報共有を行い、支援の質の向上に努めている。今後も職員の意志を寄り円滑に業務改善へ反映出来る体制づくりに努めていく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		第三者による外部評価の実施については今後の検討課題	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	今後も研修内容を現場支援へ寄り効果的に活かせるよう取り組んでいく。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	HP上で公開している。見学者に対して、1日の流れや活動内容を資料を用いて説明している。また、毎月の活動の様子を動画等で保護者へ配信し支援内容の見える化に努めている。	新入職員への周知が不十分なので、今後は入職時に周知徹底していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	モニタリング会議や申し送り、日々の様子を通してニーズを把握し、課題を整理した上で個別支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	全職員で情報共有や意見交換を行ない、共通理解の元で検討している。子どもの最善の利益を第一に考え、支援方針を整理している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	職員間で共有し支援内容の確認を行なっている。日々の支援が計画に沿った物となるよう適宜振り返りを実施。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	日々の行動観察や記録をおして子どもの状況を把握している。複数の視点から確認し、支援に反映している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2	本人支援・家族支援・移行支援・地域連携の視点を踏まえ、子どもに必要な支援項目を整理している。目標を明確にしたうえで具体的な支援内容を設定し、実践に繋げている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員間で意見を出し合いながら、立案している。子どもの特性や発達段階を踏まえプログラム作りに努めている。		

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	子どもからの意見や興味関心を取り入れながら検討している。様々な経験ができるように工夫している。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	子どもの状況に応じて、適宜に組み合わせた個別支援計画を作成、支援に反映している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	3	行事計画を作成し事前に職員へ内容を共有している。当日の朝に打合せを行ない、内容・役割を確認しチームで連携して支援をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	支援終了後は送迎等で直接の振り返りが難しい為、LINEや翌日の朝礼で支援内容の振り返りを行ない、職員間で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	記録を徹底し、その内容を元に支援の検証や改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリングを行ない、見直しの必要性を判断し、適切に計画を更新している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	複数組み合わせ、子どもの特性等に応じた支援をしている。活動内容を柔軟に調整し向上に繋がるよう工夫している。	
関係機関や保護者との連携	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子どもが自己選択出来るよう支援内容を工夫して自己決定する力の醸成に努めている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	子どもの状況をよく理解した職員が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	関係機関と連携しながら、支援に用の一貫性や安全性の確保に努めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	子どもの支援に反映できる体制を整えている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	現在対象となる就学前児童がいない為実施していない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2		必要に応じてスムーズな移行支援ができる体制づくりを検討していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		今後必要に応じて連携や助言を受けられる体制の検討が課題
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	公園などの場を活用して、交流する機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		今後地域の協議会への参加や情報共有を検討していく。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	3	日ごろから送迎時に保護者へ申し送りを行い児童の状況や発達の課題について共通理解を図っている。時間が足りない場合はLINEを活用して情報共有している。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		現在、専門知識を持つ職員がいない為実施していない。今後、家族支援が行える体制づくりを検討。	
提供	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	契約時や見学时に丁寧に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2	子どもや保護者の意向を確認する場を設け、意思の尊重と最善の利益の優先を踏まえて作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	個別支援計画を示しながら、支援内容を説明し保護者からの同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	必要な相談支援を行い、必要に応じて職員間で情報共有し、支援内容の一貫性を保つよう努めている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者同士が交流できる機会やきょうだい同士でも交流する機会を工夫して設け、家族間のつながりを支援している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情があった場合には迅速かつ適切に対応するよう努める。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月、活動の様子をまとめた動画や誕生日動画を作成し保護者へ配信している。LINEを活用してお出かけ(野外活動)などの情報を発信し、情報提供に努めている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の扱いに十分留意し、記録や情報共有において適切な管理を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	円滑に行えるよう配慮し、必要に応じて工夫した方法で伝えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	現在、施設の面積等により難しい状況。今後は可能な範囲で活動を検討していく。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	マニュアルを策定し、職員間で共有し、訓練を実施している。今後は家族への周知も行っていく。	職員・保護者への周知が不十分なので、今後は新人研修や利用契約時に周知徹底していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3	BCPを策定し、非常災害に備えて定期的に避難訓練など必要な訓練を実施している。	職員・保護者への周知が不十分なので、今後は新人研修や利用契約時に周知徹底していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	事前に服薬状況やてんかん発作など児童の健康状態を確認して支援に反映している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	現在、医師の指示書はないが、保護者や本人からの情報をもとに対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画に基づき、職員間で日常的な安全確認やリスクへの対応を行っている。	今後、より体系的な安全計画の作成や研修・訓練の実施、保護者への周知をしていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		現在、安全計画を作成しているが、家族への周知は不十分のため、今後、家族等への周知を含めた体制整備を検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	職員間で共有し、再発防止に向けた対応策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2	虐待防止研修の機会を確保し日常の支援において適切な対応ができるよう努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		現在、身体拘束の対象となる児童はいない為計画への記載や事前説明はやっていない。今後はやむを得ず必要が生じた場合には、方針を決定し十分に説明・了解を得たうえで反映できる体制を検討する。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	経塚
------	----

公表日 令和 8 年 3 月 30 日

利用児童数 回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	1	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	3	0	2	コロナ前に一度だけ施設にお邪魔したことはありますが、細部の記憶が定かではありません。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	12	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	1	1	1		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	0	1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	1	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	1	0	2		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	1	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	1	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	2	このような経験がまだないため、いつも配慮して下さっているものと思っています。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	2	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1	0	0		